

---

# 荒城の月

玖龍

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

荒城の月

### 【コード】

N7869Q

### 【作者名】

玖龍

### 【あらすじ】

滝廉太郎作曲・土井晩翠作詞の『荒城の月』を元にして作りました

滝廉太郎は故郷熊本の岡城をイメージして作ったと言われてますが、今回は明治維新史に残る、会津若松城落城をイメージして作ります

……



(前書き)

時は1894年……清との関係が悪化し、日清戦争開戦の雰囲気の中にある日本。

戊辰戦争を経験した、元侍の話です

『荒城の月』作曲：滝廉太郎  
春高楼の花の宴 巡る杯 影さして 千代の松が枝 わけいでし  
昔の光今いづこ

日清戦争開戦 の一報を聞いた男は26年前 会津戦争を想  
起していた。

26年前、彼はまだ17歳で、会津藩に仕える若き侍だった。  
藩主である松平容保まっだらかたもりのため、幕府のために戦うことに命をかける  
……それが彼の生きがいであった。

しかしペリー来航後、幕府は急速に衰退、国を實際薩長土肥が動  
かしている状態にあった。遂に1867年、將軍徳川慶喜は朝廷へ  
大政奉還を行った。

翌1868年に元号が『明治』に変わり新政府が立つとともにそ  
れに歯向かうように幕府軍が蜂起、“戊辰戦争”が始まった。

結果は惨敗。各地で幕府軍は滅びていった。

……幕府軍の中心勢力であった会津藩も例外ではなかった。藩主  
容保は一時京都守護職となり新選組を組織した男だ。新政府が目の  
敵にしないはずがなかった。

既に追討対象となっていた会津を守るため、容保は家督を養子に  
譲り徹底抗戦の方針を固めた。が、奥羽越列藩同盟も次第に崩れ始  
め、また主戦力は越後にいたため籠城戦に持ち込む他はなかった。

彼は白虎隊とよばれる少年兵だった。しかし会津　容保の危機を知った彼はすぐさま会津若松城に戻っていった。

花見の時に杯を皆で回し飲みをした。藩主への忠誠を表すために杯に映る満月　澄んだ空によく輝いていた。

思い出のある城　彼にとっての永遠の城を失くすわけにはいかなかった。

しかしそんな想いも虚しく、彼が城に戻ったときは多数の官軍が包囲し火を放たんとしていた。容保が無条件降伏をした。……東北最大を誇った会津若松城はいとも簡単に落城した。

今容保は東京にいる……あの後東京にて謹慎になったのだ。しかし彼ももう歳……あまり体調がよくないらしい。

俺にはまだ本気で守ろうと思えるものが残されているだろうか……？未だ藩閥が勢力を争う時代には何も無い。守れるのは……強く若い容保様との思い出・意志と失くなった城の跡だけかもな。

侍時代の刀を見てため息をついた。

(後書き)

どうでしたでしょうか？

容保さんと落城の話は本当ですが、男はフィクションです。

『一所懸命』

江戸時代の幕末は本気ので幕府をとるか、新政府をとるかの2つだったんでしょうね。

「本気で何かを守りたい」という気持ちがあつた最後の時代だと私は思っています。

私はどちらを選ぶかと訊かれたら、迷わず幕府をとります

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7869q/>

---

荒城の月

2011年10月8日15時40分発行